

**日本語教育機関のための
自己点検・評価チェックリスト**

**神戸外語教育学院
令和3年12月20日制定
理事長 吳仲華**

評価方法

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。

1. 理念・教育目標	A	B	C
1.1 理念・目的・育成人材像は定められているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1.2 学校の特色は何か	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1.3 理念に基づく教育が行われているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 当校は2009年の開校以来、日本語教育を通じて諸外国の方々に日本の現状と日本文化を理解していただき、世界的な視野点に立った発想とコミュニケーション能力を身につける人材を養成することを教育理念とし活動してきました。現在は中国、ウズベキスタン、イラン、バングラデシュ、ベトナム、ネパール、スリランカの学生が在籍しております。文化の多様性理解と日本語運用能力を高めるために、クラスは国籍に関係なく構成されております。地域交流イベントへの参加や地域の学校との交流を行い、相互理解の意識を育てております。			
2. 学校運営	A	B	C
2.1 運営方針は定められているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.2 事業計画は定められているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.3 意志決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.7 危機管理体制を整備している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 学校の運営体制は日本語学校の告示基準を満たしております。学校の運営方針や事業計画は、毎年学校の理念や目的に沿って、策定されております。 情報システム化については、学校管理システムを利用して、業務効率化を推進している。 施設・設備は学校教育法に基づき整備されている。防火防災に関しては、防火管理者・防災管理者を選定し、防火施設等の点検状況を管轄消防局に提出している。震災への備えとして、水等の備蓄をしている。万が一、自然災害等緊急を要する事態が発生した場合、緊急対策本部を組織し、被害を最小にすべく迅速な対応を図ることとしている。			
3. 教育活動の計画	A	B	C
3.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

3.4 教育目標に合致した教材を選定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 当校では日本語学習を通じた世界的な発想能力およびコミュニケーション能力の育成という教育目標を共有し合い、その達成のため、基礎レベルの学習時期から互いの意見を交換し合う機会を積極的に授業の中に取り入れております。加えて、日本語レベルに応じた段階的な学習プログラムの運用により、学生の日本語能力の向上は健全に行われております。 授業の内容としては、総合教材を軸に書く・読む・聴く・話すの4技能をバランスよく学べるカリキュラムを組んでおります。特に初級レベルの教育を大切に感じており、初級レベルクラスでは、コミュニカティブアプローチを積極的に用いた教授法を推進しており、早期のうちに日本語の運用に慣れさせておくことに重点を置いております。今後の課題としては、クラスの授業についてこられなくなる学生が毎年出てくるため、どのようにしてそのような学生を出さないようにするのか、その解決方法の模索が課題です。			
4. 教育活動の実施	A	B	C
4.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.6 学生の自己評価を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.7 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.8 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 当校では現在日本語能力試験を参考に作成した学校独自試験によってクラスを編成しております。クラスは到達レベル別に設置しており学習状況に配慮した編成を行っております。 学生の理解度・到達度の確認という点においては、学期末試験および校内日本語能力試験模擬テスト、その他テストにより正確に把握しております。また、それら校内定期試験、日本語能力試験、日本留学試験の受験状況と結果は詳細に記録を取っております。学生の最終的な進路についても記録を残しており、外部調査にも積極的に協力して進路データを外部に提供しております。各教員の担当クラス情報および指導に必要な情報、教材の提供は春季秋季年2回の講師ミーティングにて行っております。個別学習指導等が必要な者がいる場合は特定の担当者をつけて学習状況が把握できる環境で行っております。			
5. 成績判定と授業評価	A	B	C
5.1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.4 授業評価を定期的実施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.5 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5.6 学生による授業評価を定期的実施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 本校では初級から上級にわたって日本語教育を実施している。特に初級レベルにおいては、まだ来日して日が浅く日本の生活にも日本語学習にも慣れていない学習者が多いため、同じ初級の中でもさらに細かくレベル分けを行い、中級以降の学習がスムーズに進むよう教師たちは配慮しながら授業に臨んでいます。 成績評価は、5段階評価により詳細な評価がなされている。評価の基準は、授業態度及び活動の様子、課題物提出状況、小テスト、ユニットテストの結果及び期末テストの結果を基に評価を出している。今年度で、会話能力の成績評価の基準はもっと明確になりました。			
6. 教育活動を担う教職員	A	B	C
6.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.2 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.3 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.4 教員及び職員の評価を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 今後の課題としては、教育機関の信頼性を高めるため、倫理観やハラスメント等の研修の実施を行いたいと思っております。			
7. 教育成果	A	B	C
7.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.2 修了・卒業の判定を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.4 卒業または修了後の進路を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 校内定期試験、日本語能力試験、日本留学試験の受験状況と結果は詳細に記録を取っております。学生の最終的な進路についても記録を残しており、外部調査にも積極的に協力して進路データを外部に提供しております。卒業後の進路は進路確定者対象アンケートを実施し記録および把握をしております。			
8. 学生支援	A	B	C
8.1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.2 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.3 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.4 保護者と適切に連携しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.5 卒業生への支援体制はあるか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

環境・具体的な取り組み・課題

学生支援においては各クラスに担任教師1名と担当事務員1名をつけるツーマンセル組で運営を行っております。常に2人1組で教務と事務が情報を共有し尚且つダブルチェックで指導を行っております。当校には複数国の日本語上級外国人スタッフが常駐しておりますので、生活相談、心身の問題などを通訳によりサポートできる体制を整えております。また定期的に警察署の方から生活指導を行っていただいたり、保健センターの方から病気やけがの指導を行っていただいたりしております。卒業生への生活、進学への支援は整えておりますが、就職支援体制を今後検討します。

9. 入国・在留に関する指導及び支援	A	B	C
9.1 入管事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.2 担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.6 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

環境・具体的な取り組み・課題

入国、在留に関する指導及び支援については、入学の際のオリエンテーションで行っている他、クラスでも随時行っている。オリエンテーションでは、遵守すべき社会的ルールや基本的生活習慣、学則や学校規則について母国語もしくは共通語による指導を行っている。

学生情報はパソコンで個別にデータ管理を行っており、学生情報の他、指導上の留意点等、クラス担任がデータ入力し、関係者が観覧して情報を共有し、日頃の指導に役立てられるよう体制が整備、運用されている。

10. 教育環境	A	B	C
10.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.7 法令上必要な設備等を備えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.9 バリアフリー対策を施している。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

環境・具体的な取り組み・課題

学校施設の管理においては十分かつ安全に運用されるように、定期的に建物の点検を行っております。各教室には適切な温度管理の元授業が行われるようにエアコンが完備されております。教育面においては様々なレベルの教材を複数種類備えております。それで補えない部分は学校独自教材を用いたカリキュラムデザインで対応しております。今後の課題といたしましては車いすの方などを対象としたバリアフリー対応ができていない状況なので、バリアフリー化の検討を考えているところです。

11. 入学者の募集と選考	A	B	C
11.1 学生の受入方針は定められているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

11.2 学生募集活動は、適正に行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.3 学生募集活動において、教育製菓は生活に伝えられているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 学生の受入に当たっては、当校の教育理念・目的に照らして、日本語学習目的、日本語学習歴、経費支弁能力の3点において問題のない学生を受け入れるという基本方針が定められており、その方針に沿って、継続的な日本語学習に支障のない学生を受け入れています。 募集要項の記載内容、希望者に配布するパンフレットやホームページ掲載内容には、在学生の学習状況や既卒者の進学実績等も正確に記載しています。 入学希望者から提出された書類は、事務所において適正かつ公平に審査し、手続きが行われています。 在籍者数は出入国在留管理局に許可された枠に保たれています。			
12. 財務	A	B	C
12.1 財務状況は、中長期的に安定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.3 適正な会計監査が実施されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 監査役が適切に監査している。税理事務所に委託し、連携体制を取り、適切な会計を行っている。			
13. 法令遵守	A	B	C
13.1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.2 個人情報保護のための対策をとっている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.3 関係省庁への報告を遅滞なく行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 当校は、法令や関連基準等の規定を違えることなく運営しており、大阪出入国管理局神戸支局への定期報告等定められた報告も適正に延滞なく行われています。			
14. 地域貢献・社会貢献	A	B	C
14.1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.2 学生ボランティア活動への支援を行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.3 公開講座等を実施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・具体的な取り組み・課題 当校としては年に1、2回地元地域の方々と交流するイベントに参加しております。今年度はコロナの影響で地域との交流活動はオンラインのかたちになりました。			